

# 産業建設常任委員会記録

令和元年 5 月 2 1 日

【開日】 令和元年5月21日

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午前10時50分～午後0時2分

【出席委員】

委員長	中村博行	副委員長	岡山明
委員	河崎平男	委員	恒松恵子
委員	中岡英二	委員	藤岡修美
委員	森山喜久		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

副議長	矢田松夫
-----	------

【執行部出席者】

経済部長	河口修司	公営競技事務所 長	桶谷一博
公営競技事務所 副所長	井上正満	公営競技事務所 主任主事	長村知明
公営競技事務所 参与	上田泰正		

【事務局出席者】

局次長	石田隆	書記	光永直樹
-----	-----	----	------

【審査事項】

- 1 議案第50号 令和元年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正  
予算第2回について

---

午前10時50分 開会

---

桶谷公営競技事務所長 改めまして、皆様、おはようございます。公営競技事務所所長の桶谷でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。それでは、議案第50号令和元年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算第2回について御説明いたします。なお、お手元に、議案とは別に資料を用意しておりますので、こちらも併せて御説明させていただきたいと存じます。今回の補正は、平成30年度の決算見込みにつきまして、歳入が歳出に不足する見込みでございますので、地方自治法施行令第166条の2の規定に基づきまして、令和元年度の歳入を繰り上げて、これに充用しようとするものです。予算書1ページをお願いします。第1条でございます。歳入歳出予算総額に、それぞれ12億6,000万円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ128億8,895万6,000円とするものです。続きまして、予算書5ページ、6ページをお願いします。上段の歳入では、3款2項1目雑入1節雑入に歳入欠陥補填収入として、12億6,000万円を計上しています。また、歳出では、4款1項1目前年度繰上充用金22節補償、補填及び賠償金に前年度繰上充用金として、平成30年度の歳入歳出不足額に充てるため、12億6,000万円を計上しています。なお、予算の調製の様式は、地方自治法施行規則に基づいて計上しています。

続きまして、資料の御説明をさせていただきます。資料1をお願いします。こちらの資料は、平成30年度の各場の売上状況でございます。各場、数値が3段書きとなっておりますが、中段の数値は売上げの構成比になり、下段の数値が対前年度比になります。まず、表、中ほどの合計欄ですが、5場全体の売上合計になります。700億円の大台を超え、704億4,768万7,200円となり、対前年度比106.8%となっております。一方、山陽場ですが、黄色で色塗りしているところになります。まず、左端の開催日ですが、上段が平成30年度の開催日で55日となっております。下段が平成29年度の開催日で47日ですので、8日増加となっております。なお、平成30年度につきましては、積雪等によるレースの中止はございませんでした。続いて総車券売上額ですが、93億5,942万300円となり、対前年度比128.1%と大きく

伸びています。あわせて、1日の平均売上額も伸びているところです。内訳では、本場開催はやや落ち込んでいるものの、電話投票における民間ポータルや重勝式が大きく伸びています。続きまして、本場入場者数ですが、こちらの数値は山陽場に来られたお客さんの人数になります。6万3,892人、1日平均では1,331人となっています。なお、1日平均はミッドナイトレースの開催日数を除いた数値となっています。他場におきましても減少傾向にあり、業界挙げての対策が求められるところです。今後も、本場での臨場感あふれるレースの醍醐味や魅力を発信するためにも、委託先業者と連携して魅力あるイベント等を企画してまいりたいと考えています。続きまして、電話投票利用者数ですが、売上額同様に民間ポータルと重勝式が大きく伸びています。また、表の半分から下には、飯塚場と山陽場におけるミッドナイトの合計とミッドナイトを除いた合計、そして一番下には、ミッドナイトを除いた全場の合計を掲載しています。本場におけますミッドナイトの詳細につきましては、後ほど資料3で御説明させていただきます。資料1につきましては、以上でございます。

続きまして、資料2をお願いします。こちらの資料は、各種の決算見込数値をまとめたものになります。まず、1は平成30年度歳入歳出決算見込になります。歳入が98億1,801万7,000円、歳出が110億7,157万6,000円となり、歳入歳出差引不足額が12億5,355万9,000円となる見込みです。この歳入歳出差引不足額が、平成30年度末での累積赤字見込額となります。なお、補正予算におきましては、百万円の単位を切り上げた12億6,000万円を繰上充用金として計上しています。続きまして2は平成30年度の単年度収支になります。歳入は1と同じく98億1,801万7,000円となります。一方、歳出にはこれまでの累積赤字額、つまり前年度繰上充用金が含まれていますので、この金額12億6,231万3,000円を除いた、98億926万3,000円が歳出額になります。その結果、875万4,000円の黒字となる見込みです。なお、単年度収支で黒字になるのは、平成25年度以来のこととなります。続きまして、3は

累積の赤字額になります。1と同じ数値となりますが、こちらは、前年度からどれだけ累積赤字額が減っているのかに着目した計算になります。平成29年度末の累積赤字額が12億6,231万3,000円でしたので、この数値から、平成30年度の単年度黒字額875万4,000円を差し引いた12億5,355万9,000円が平成30年度末の累積赤字額となります。続きまして、4はリース料関係になります。平成29年度末のリース料の残額が6億9,042万円で、平成30年度に7,671万3,000円返済しましたので、平成30年度末のリース料の残額は6億1,370万7,000円となる見込みです。なお、リース料の完済時期は、令和8年度となっています。続きまして、5は累積赤字額とリース料残額の2つの債務が前年度からどれだけ減っているのかに着目した計算になります。なお、交付金猶予分は平成29年度に完済しましたので、全体の債務としては、累積赤字とリース料の二つになります。数値は、上記の3と4を合算したものとなります。続きまして、6と7は基金の保有状況になります。6が施設改善基金、7が財政調整基金になります。基金の積立てと取崩しは基本的に予算に基づき行っています。またBとCを合算した2,945万9,000円が、平成30年度に増額となった基金の額になります。この金額にAの8,546万7,000円を加えた1番下の金額1億1,492万6,000円が平成30年度の基金も含めた実質収支改善額になります。平成30年度につきましては、皆様の御理解を頂きながら、単年度収支におきまして黒字、さらには基金へも一定額を積み立てることができました。こうしたことも踏まえまして実質収支改善額という表現を用いさせていただきました。資料2につきましては、以上でございます。

続きまして、資料3をお願いします。こちらの資料は、小型自動車競走事業特別会計をその性質により大きく四つにグループ分けをし、それぞれの収支がどうであるかを仕分けた表になります。まず、1は小型自動車競走事業の根幹をなす開催に係る収支であり、この部分が包括的民間委託に関わる収支となります。歳入は、発売収入74億8,521万6,000円、場外発売事務協力収入2億9,607万7,000円な

どを合計した78億2,243万5,000円となります。歳出は、②の義務的経費であります勝車投票券払戻金、JKA交付金など53億3,799万8,000円と③の開催経費であります競走会業務委託料、場外発売事務協力費、選手賞金及び市の収益保証額4,346万8,000円を合計した20億1,663万8,000円と⑤の包括的民間委託料4億6,779万9,000円、これらを合計した78億2,243万5,000円となります。続きまして、2の開催以外に係る収支についてですが、⑦の項目の中に黄色でマーカーしています収益保証4,346万8,000円は、同じく黄色でマーカーしています⑧の項目の地域公益事業879万5,000円と主に人件費であります固有経費3,074万3,000円に充当されます。充当された残りの残額、この表では明記されませんが、393万円になります。これが包括的民間委託により生じた累積債務の解消額になります。続きまして、3の重勝式に係る収支についてですが、歳入は発売収入の15億92万8,000円になります。歳出は⑪の義務的経費であります重勝式払戻金とJKA交付金、⑫の開催経費であります川口ほか開催場への負担金、全動協への拠出金、⑬の日本写真判定(株)への発売業務委託料、そして⑭の施設改善基金への積立ての合計14億1,939万1,000円になります。この重勝式に係る収支8,153万7,000円は、累積債務の解消額になります。最後、4は平成30年度に初めて行いましたミッドナイトレースに係る収支になります。ミッドナイトレースは2月に合計7日間行いまして、発売収入は4億7,978万2,000円、1日平均ですとおおよそ6,850万円になります。歳出は1の開催に係る収支と同じく、義務的経費や開催経費となります。また、これら経費に加えまして、施設改善金への積み立て1,350万1,000円を計上しています。このミッドナイトレースに係る収支は施設改善基金へ積立したことによりゼロとなっていますが、収益性の高いレースとなっています。これら4つのグループの収支を整理し、まとめたものが表の一番下になりますが、先ほど資料2で御説明した内容と同じものになります。以上で、補正関係の説明を終了します。御審議のほど、よろしくお願いま

す。

中村博行委員長　たくさん分かりやすい資料というか作っていただきました。

これは例年、公営競技事務所のほうでしっかりやっていますので助かります。早速ですが質疑に入ろうと思いますが、補正予算書は資料のほうに全部入っているんで資料のほうからいきましょうか。それでは補正予算書の主には5ページ、6ページあるので、質疑を受けましょう。

河崎平男委員　昨年度の歳入を繰り上げて充当した金額が12億7,000万円を充てておられたと思うんですが、議場でもあったんですが、売上げが伸びる中、返済計画が示される中、今年度の繰上充用金同等額を計上されていますが、本来なら売上げが伸びたら、繰上充用が少ない金額になるんじゃないですか。他の支出に充当されているんじゃないですか。

桶谷公営競技事務所長　歳入歳出決算見込額の中におきましては、現在小型特会で保有しています二つの基金への積立金というのも行っています。それらの二つの基金の収支としまして、2,945万9,000円を基金へ増額となるような予算処理を行うこととしていますので、これらの額が入っての繰上充用額となります。これらの金額を仮に別に出しますと、先ほど単年度収支で875万4,000円の黒字が出る見込みという説明をしましたが、この875万4,000円と基金へ積み増しをした2,945万9,000円を足しますと3,821万3,000円になりますが、この3,821万3,000円が実質単年度収支ということになります。

中村博行委員長　表面的には1,000万円ぐらいしか昨年度と比べて変わらない。本会議場でもあったんですけどね。その分は基金と今言われた単年度のプラス、約3,800万円が、もし基金を積み上げなかったら、これだけ減ってくるという理解ですよね。そういうことですね。

河崎平男委員 昨年度は繰上充用がピークと回答されたと思うんですけど、それでよろしいですか。

桶谷公営競技事務所長 おかげさまで、ミッドナイトレースの売上げが好調に推移していくものと見ています。そういった背景を基にしますと、委員のおっしゃったような見込みになると思っています。

中村博行委員長 売上げは相対的に本場は下がっているけれども、ほかが堅調に推移しているということでもよろしいですね。以前の審査だったら売上げが下がって、どうするんだ、どうするんだということがあったと思います。全体的に資料も全部含め質疑を受けようと思います。資料が詳しく個別にできているので分かりやすいと思うんです。ただ、5場全体の本場の売上げが下がっているということで、本会議場でも説明があったと思うんですけど、その対応策というか、具体的に何かあれば。

長村公営競技事務所主任主事 本場の改善策につきましては民間ポータル、ネットの投票が重点的になってきています。そういう関係でオートレース全体で運営しています公式の電話投票サイトがありまして、その会員をターゲットに絞って、本場に誘導するという策を全場で協議しています。そこから本場の活性化策を見出していこうと考えています。

中村博行委員長 公営競技を含めて、こういう事業というのが全体的に電話投票等に移行しているというのは、今の世情であろうかと思うんです。本場に来てもらって、オートレースの本当の魅力というのを訴えていくべきじゃないかと思いますので、その辺を含めて対応を考えられるんじゃないかと思います。

河崎平男委員 先日、山陽オートレース場でビッグレースがありました。そういった中で行事等も含めてやられていたと思うんですが、そういう行事をされて、やっぱり本場のお客さんを取り戻すということが大事だろう



と思うんですよ。ほかの売店にも影響するし、本市にいろんな面で波及すると思いますので、そういう行事をされてお客さんを呼んでいただきたいと思うんですが、これからの対応策はどのような考えを持っているんですか。

長村公営競技事務所主任主事 河崎委員のおっしゃるとおり、ぶちうまフェスタを今年の3月に山陽商工会議所青年部の主催で協力させていただいて、開催させていただきました。平成29年度、30年度に引き続き、来場者数が多くなりました。本場が活性化するというのは現場でも感じているところなので、地元の青年会議所や委託している日本写真判定等も含めて、地元で根差し、本場に人を呼んで、活性化していくことを考えていきたいと思っています。

河崎平男委員 売上向上策で女性選手というのはどう考えていますか。

桶谷公営競技事務所長 オートレースの選手を養成するところで、現在34期生の訓練生を養成しているところです。この中で山陽ロッカーに配属予定の選手が4名いますが、そのうちの二人が女性のレーサーということで、我々としても非常に期待している状況です。

河崎平男委員 2名が配属になるのなら、女性レーサーの配慮をしていただいて、売上向上策に努めていただきたいと希望します。

中村博行委員長 今回の施設を改修しなくてはならないという状況があると思うんですけど、それは何か考えておられますか。

桶谷公営競技事務所長 選手の宿泊施設において、女性選手が新たに2名配属されるということですので、現在、女性部屋の確保について改修を計画しています。

中村博行委員長 現在、女性レーサーは全国に何名ですか。

桶谷公営競技事務所長 現在、女性レーサーは11名です。養成所に所属しています選手が卒業されて、レーサーになりますと16名の女性レーサーということになります。

中村博行委員長 女性レーサーのサインとか求められることがあるんですよ。それに女性レーサーが結構走っていますね。佐藤選手とか重賞レースで決勝に残ったりしていますので、期待される場所だろうと思います。

恒松恵子委員 公営競技のボートレースは常設的なハードで子供向けの施設を作って、来場客を増やそうとされているのをよく見るんですが、オートレース業界において常設的な子供向け施設とかで来場者を増やす計画はありますか。

上田公営競技事務所参与 昔は直営のころから、合併後には子供広場とか、遊具施設等もありました。古くなると危ないということで一旦撤去はしているんですが、日本写真判定と将来的に子供向けの常設の対応を含めて協議しています。開催中は小動物を触るということで日本写真判定が秋吉台サファリに発注して、GIレースなどの大きいレースのときにそういったイベントもしています。家族連れのお客さんが来やすいような取組も鋭意努力していますので、恒松委員が言われたような配慮をより深めて、本場開催の魅力という部分をこういう方面からもしていきたいと思っています。

中村博行委員長 去年は運が良くて中止になった日がないと。雪もなくて。1日じゃなくて去年レースとして不成立は何レースぐらいあったんですか。

桶谷公営競技事務所長 先ほど私の説明の中で、雪で全部が中止になった日がないということで55日という言い方をさせていただきました。ただ、

実は30年の8月17日に行われたレースにおきまして、走路が破損したために7レース以降が一部中止になったという事例はございました。

中村博行委員長 それは落車関係で走路が傷んだということですね。それ以外でレースそのものが、不成立というものはどのくらいありますか。

長村公営競技事務所主任主事 特別G I という一番大きなレースなんですけれども、これの準決勝戦の第11レースだったと記憶しておるんですけども、スタート直後の落車で不成立が発生しております。

中村博行委員長 1件だけ。

長村公営競技事務所主任主事 不成立は1件です。

中村博行委員長 痛かったね、それは。

長村公営競技事務所主任主事 そうですね。特別G I の準決勝戦なので痛かったです。

中村博行委員長 どれくらい売っていたんですか。

長村公営競技事務所主任主事 返還額という意味では5,000万円くらい発生しておりました。

藤岡修美委員 ミッドナイトレースですけども、地元説明会、それから騒音調査等、入念に準備されてやれたと思うんですけども、これに関して地域から苦情等が上がったという話はないですか。

桶谷公営競技事務所長 ミッドナイトレースを開催するに当たりましては、合計で地元説明会を3回ほど開催させていただきまして、特に議員のほう

から御意見のありました苦情等とかそういった御意見は出ておりません。

河崎平男委員 昨年度この時期だろうと思うんですが、駐車場に関して必要不  
必要な部分は現状を踏まえて、整理していくとの答弁がありました。そ  
ういった中でどこまで進捗しているんですか。

桶谷公営競技事務所長 駐車場の問題については将来的に解決をしていかなけ  
ればならない重要課題の一つであると認識しております。しかしながら、  
これを解決するに当たりましては一定額の資金が必要となってまいります  
ので、まずはミッドナイトレースを軌道に乗せることに重点を置いて  
業務に当たってきているところです。それから続きまして予定をしてい  
ます、スタンドの改修、更に必要になってくるであろう管理地区での管  
理棟であったり、選手の宿舎であったり、そういった中での全体計画の  
中で駐車場の件も考えていきたいというふうに考えております。

河崎平男委員 今聞くと具体的に土地所有者とかいろんな関係で進んでないとい  
いうことでいいですね。

桶谷公営競技事務所長 議員のおっしゃるとおりでございます。

河崎平男委員 そういった中でこれは随分以前からある問題で具体的に計画を  
立てていかないと相続の関係も発生してきていると思うんですよ。これ  
は重要な問題でありますので、オートレースだけの問題ではないですよ  
ね。これはやっぱり行政が絡んで経済部も含めて市長と協議するような  
形に持っていかないと何十年とは言わないけど、随分昔からの問題。議  
会でも言っているし、ほかのところでも出ております。地元から出てい  
る中で、計画的に進んでいかないとずっとこのままになる。例えば埴生  
駅が無人化になっている。この活性化するためにこの駐車場がどうか  
ならないかということも聞いておりますし、将来のまちづくりについて  
の考えでしょう。そういった中で進んでこの問題は解決してほしいと思

うんですが、どうですか。

桶谷公営競技事務所長 今、議員のおっしゃられた方向性は私も認識しているところでございます。先ほどの御説明の繰り返しになりますが、まずはミッドナイトレース、そして、スタンドの改修。当面それらの課題について全力を傾注していきたいというふうに考えております。

中村博行委員長 河崎委員が先ほど言われたのは、財政計画が出来ているじゃないですか。その中にプラスが出てきている。それと並行して、ある意味全庁的な、企画などを含めた中で、まちづくりも言われたんですけど、それをしないと、もう数十年たっているわけです。そうすると相続の問題を先ほど言われたように手続が非常に困難になるんですよね。みんな市外に出られている。そうしたらそういった人の印鑑をもらわないといけないという問題も起こってくるので、早くしないとますます分からなくなるという懸念を言われたというふうに思いますので、これはまた全庁的な協議としてやってほしいかなという気がしています。

藤岡修美委員 公営競技の事業自体とはちょっと離れるんですけど、パラサイクリングの練習基地として、選手が頑張っていますけど、選手のほうから、バリアフリー化に関する要望等は聞こえてきてないですか。

長村公営競技事務所主任主事 バリアフリーの要望につきましては特段、直接お声はお聞きはしてないんですけど、やはり使い勝手がいいようにお使いいただけたらと思ひまして、平成30年度につきましては、課長提案事業という形で選手宿舎のトイレをバリアフリー化して誰でもトイレと言いますか、横開きの広いトイレに改修するという事業は行っております。

藤岡修美委員 それと来年東京オリンピック・パラリンピックがあるんですけど、それ以降も日本選手団のパラサイクリングの練習場としては計画さ

れているんですか。

長村公営競技事務所主任主事 基本的には地域振興部が主体となっているんですが、当初から東京オリパラだけではなく、ずっとレース場としては施設を使っただけであれば考えておりますので、おっしゃるとおりだと思います。

中村博行委員長 商工会議所青年部とか活用されていますけれども、あれだけの集客ができる施設なのでそういった方面にも活用していただけるように希望いたします。

岡山明副委員長 今回資料2を見ても、二つの債務解消額は8,500万円近く減っていますね。今までずっと1,200万、1,300万円くらいの返しということで当然今年は昨年度で交付金の流用額は今まで1億3,000万円近くあったんですけど、その分がなくなったという状況で、リース代が3,500万円が、7,600万円に戻ったという状況で、ここの二つの解消額が8,500万円。トータルが18億円まで下がってきているという状況で、8,500万円も解消できたものすごい努力をされたと、数字を見てから、喜んでいるんですけど、それと同時に今後1番気になるのが、設備の改修が入ってきますね。お金が掛かってくる。設備の改修。それとミッドナイトの照明に関する費用もトータルで20億円くらいの金額が出てくる形になっているんですけど、その辺の返済に対する、資料2を見るとこういう形、なにもなければ完璧に入ってくるという状況なんですけど、いよいよ来年から施設の改修に伴う費用がばっくり出てくると。その辺で決算見込みの形でいくとどういうふうになるか。資料2になるんでしょうけど、この中にミッドナイトの照明に掛かる費用とか、スタンドの改修に掛かる費用とかを見積もったような今後表になってくるか疑問を持ったんですけど、その辺はどうされますか。今後の設備改修に掛かる金額は。

中村博行委員長 12月でしたよね。12月にスタンド改修の件が出まして、一応の計画表が示されたんですけども、具体的な実施計画に入っていくと思うんですけども、そういうタイムスケジュール的なものの表はいつ出てくるかということだと思っております。それに伴ってミッドナイトの照明の設備は、地質調査をされているんじゃないかと思っておりますけど、その辺のスケジュールですね。ミッドナイトの設備とスタンド改修。具体的な計画、表がいつ頃出てくるかということだと思っております。

上田公営競技事務所参与 最初は、副委員長が言われた質問なんですけど、こういったミッドナイトレースをやるということで、鋭意、一般財団法人オートレース振興協会と調整する中でミッドナイトレースの開催収支、開催経費の中でオートレース振興協会と契約し、ナイター施設を建てるようになっております。今、計画どおり進めていますが、大体半年未満になるんじゃないかと思っておりますけど調整しているところです。今、いろいろ調査する関係でこの場ではいつとはっきり言いにくいところはあるんですけど、計画どおりには進んでいるところでございます。当然、スタンド含めて今年の3月の補正のときに累積債務の返済状況、今後の計画ということで方向性を示したところなんですけど、その中でも今後10年間でミッドナイトレースを行う事業収支、さらにはスタンド等新施設の整備関係を含めて関係機関、主にJKA、特にオートレース振興協会との調整を図って開催経費の中で行っていくように今計画しております。今の施設については、当然スタンドは昨年度から引き続いてやっております実施計画の協議を行っております。建設住宅課を含めて協議を密に重ねておりますので、その方向で順次進んでいるところです。ミッドナイトはまた調査結果に基づいて今後はっきりした計画が出てくると思います。計画の先にもある程度予算で示したとおり今年のミッドナイトの開催の日数を確保して売上げを確保しながら、計画通り進めていくように鋭意調整しているところでございます。

中村博行委員長 できた時点で早めに計画をね。3月の時点でミッドナイトは

8月の終わりか9月には開催したいとかいった答弁があったと思うんですよ。そういった形で具体的にはっきりしたら、そういう資料等の提出をお願いしたいと思います。

岡山明副委員長 3月の補正予算で頂いたのは、債務返済の計画書は出してもらったんですよね。そういう状況で債務の返済と同時に設備関係の補修の計画案は。

上田公営競技事務所参与 今、委員の手元にはないですが、一応ミッドナイトの売上げ1日5千万円。更に伸びた場合、1番上の段に累積債務の返済状況。今までは下に基金の状況ということでその中には走路改修、宿舍改修も含めて計画をしている中で真ん中に照明新施設というのが、東西スタンドの関係ですが、解体して新たな施設を整備していくということで、これは公表された資料ですので、概略的な計画ですが、関係機関、JKAオートレース振興協会との調整を図ってミッドナイトレースの開催経費による事業推進を行うということで真ん中に示したところでございます。上のほうに矢印で累積赤字解消基金積立ての加速化、そして5,000万円であれば平成47年度くらいに完全に黒字になるんですけど平成44年度辺りから一般会計の繰出しの可能性もできる可能性になるということの計画も示しております。そうしたところで計画どおり鋭意進んでいるところです。

河崎平男委員 今の答弁の中で、上部団体との調整をやりよってと思うんですが、いつ頃までできるんですか。それに基づいて資料提出もされると思いますが上部団体との調整どこまで今いつているんですか。

桶谷公営競技事務所長 ただいま頂きました御質問に関しては照明関係ということでよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）照明関係につきましては、オートレース振興協会と逐次、協議を重ねているところでございます。現在の進捗状況でございますが、地質調査を現在終えたところで、



この結果を基にこれから槌音が聞こえてくるのかなと思います。計画といたしましては計画どおり進んでいるというふうに見ております。完成予定の御質問だろうと思います。完成予定は8月の中下旬を予定しているところでございます。

中村博行委員長 3月に答弁されたことで変わってないということやね。予定どおり行きよるということやね。

岡山明副委員長 8月、9月の開催日はもう決定していますか。

桶谷公営競技事務所長 開催日につきましては、現在上部団体、あるいは他場等と協議をしているところでございます。

岡山明副委員長 その開催日と照明がマッチングすると言ったらおかしいんでしょうけど、照明が遅れたり、そういう分は今の状況では、上部団体から日にちが設定されたときに施設関係は間に合うという状況でいいですか。

桶谷公営競技事務所長 設備関係につきましては予定どおり完成するというふうに思っております。

中村博行委員長 スタンド改修については12月に一応計画表をもらっているんですが、実施計画等、具体的な形ができれば出してもらうということでもいいですね。これはまだ日にちがあるね。

岡山明副委員長 前も確認したんですけど、資料の1の分で民間ポータル等で年齢別である程度、掌握されているか確認したいんですが。

長村公営競技事務所主任主事 本場に来場されるお客さんの平均年齢は大体60代くらいになっています。これは業界の中でアンケートを取るで、出

しています。最新のものが更新されていないんですが、60代くらいが本場の利用者の平均年齢になります。他方で、電話投票におきましては通常開催とミッドナイトの開催で年齢層は若干異なりまして、報告書が30年度のは随時出てくると思うんですが、大体で言いますと、民間ポータル、ミッドナイトだと20代から30代がコア層になっていまして、昼間とかであれば40代、50代くらいというふうに聞いております。また報告書等が出てきたときに実際に資料とかが見られると思っております。そのときに再度御説明できればと思います。

中村博行委員長 山陽場を見る限りは60代ではないような気がするよね。もうちょっと高いかなという気がしています。そういった資料が出たら報告してください。

矢田松尾副議長 議場の中でも双子とか三つ子とか赤字について質問があったんですけど、リース料について質問しますが、先ほど令和8年を目標に返済計画を立てていると言われましたけど、売上げが多かったのか。前年度の決算を比較すると1.5倍くらい、返済額が多かったんですよね。その理由とこういうふうに順調に行けば前倒しで少しでも借金を減らされていくのか、この2点についてお聞きしますが。

中村博行委員長 これは平準化されたんよね。平準化されて令和8年ということよね。今の質問が、そうは言っても売上げがこれだけ上がってきたら前倒しで返済はあるのかということ。

上田公営競技事務所参与 今の副議長からの質問ですが、リースの返済については約7,600万円。これを随時平準化して令和8年度まで払うようになっております。これまだ厳しい面があって、平成29年度は半分にしました。前倒ししていわゆる払い方の計画を変更するかということも考えられるんですけど、ミッドナイトレースを推進することによる整備がございます。そうした部分で基金に積み立てていかなければならない

ということで、リース料の相手先がオートレース振興協会ということもありますので、オートレース振興協会とはこうした支払部分のお話しをしながらミッドナイトレースを進めていくということがございますので、引き続き順次リース料は支払いながら、一方で新しい事業を進めていくということになりますので、一体化して話をしていくことになりますので、令和8年度まで支払っていくことになると思います。

中村博行委員長 前倒しは考えてないということやね。

上田公営競技事務所参与 ミッドナイトレースについては可能性のある事業でございますし、令和元年度、令和2年度になっていきますと、推進されていくと思われております。それでいくとまた3、4年後はいい方向性で状況が変わってくると思いますので、そうしたところを見計らっている部分の計画等を踏まえてリース料の返済計画の変更ができる可能性はあるかもしれません。

中村博行委員長 それとさっきの質問のもう1点。1. 5倍くらい売上げが伸びたが1番の要因というのは。本会議場でもあったと思うんですけどその要因をもう1回確認したいということでした。

長村公営競技事務所主任主事 昨年度と比較しまして、売上げが伸びた大きな要因は重勝式の売上げ増加になります。重勝式の売上げが平成30年度は15億円になっているんですけど、平成29年度は1億円ちょっとだったのでその部分が大きく占めている部分になります。あとはプラスでミッドナイトオートレースの試験開催を7日間やりました。これが4億8,000万円。トータル部分でそこが上振れしたことが約1.5倍になった要因になっております。

中村博行委員長 重勝式の今の会員はどのくらいですか。

長村公営競技事務所主任主事 昨日時点で約9万4,000人くらいです。

中村博行委員長 1年前がどのくらい。

上田公営競技事務所参与 平成30年の4月1日で約1万9,000人ですので1日大体100人、いろんなキャンペーンがあつて多いときは1,000人。今でも毎日100人ずつ増えて先ほど長村が言いましたとおり、9万4,000人ということで増え続けております。

中村博行委員長 現在も増え続けている状況ですか。（「はい」と呼ぶ者あり）非常に明るいですね。ほかにございますか。（「なし」と呼ぶ者あり）ないようですので討論ありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）討論ございませんので採決に移ります。議案第50号令和元年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第2回）について賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

中村博行委員長 したがいまして議案第50号は可決すべきものと決しました。どうもお疲れ様でした。この議案の審査は終わります。それでは暫時休憩いたします。

---

午前11時50分 休憩

---

---

午前11時57分 再開

---

中村博行委員長 それでは休憩前に引き続きまして産業建設常任委員会を再開いたします。まず懸案になっておりました、卸売市場についてでございますが、これについて2月に陳情書が上がりまして、3月にそれについて審査をいたしました。そして4月には連合審査という形でやってき

ましたが、3月の時点で結局、取締役会が終わったら、その後の報告を受けるということになっておりましたが、随分せかせてきたんですが、なかなか日程等が調整つきませんでしたので、今回改めて、早くしてくれということを申しましたところ、この会期中にはしたいということでありましたので、日程調整の結果5月27日、来週の月曜日になりますが、10時に産業建設常任委員会で市場について所管事務調査ということで開催しようと思いますが、これについてお諮りをします。よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり。）それでは5月27日午前10時から委員会を開催します。以上で産業建設常任委員会を閉じます。お疲れ様でした。

---

午後0時2分 散会

---

令和元年5月21日

産業建設常任委員長 中村博行